

現場での判断がカギ

経営で一番大事にしていることは何ですか?

直感です。経営コンサル、税理士、銀行員、ノウハウ本、セミナー、メルマガ、社員の声、顧客の声、友人の声、同友会、フェイスブック、メール、ツイッター、ライン、占い師、風水、サイコロなどなど。それらが色んな事を語りかけてきますが、参考にしてもすべてを鵜呑みにしてはいけないということ。最後は自分自身の直感を大事にするのと。バランスです。

その直感を研ぎ澄ますには?

まず、よく寝る事です。本で読んだのですが、どこかの親分は一瞬の判断で生死が決まるので、なるべくよく寝て、感性を研ぎ澄ましておくそうです。

他には、映画を見ること。小説を読むこと。妻と話をすること。自分を自分の良い状態に保つこと。一見無駄にみえる絵空事の話にこそ真実が含まれるのでは。水晶玉のごとく:

妻と話しするのは絵空事?

いえ、普段私に辛口な妻が、たまに私に味方してくれる時って何万もの軍勢を得たかのようになり、うに勇気がでるんですよ。ごくたまにですが、私のビジネスを後押ししてくれていきます。



株式会社グリーン・アート 代表取締役
松本直樹
Matsumoto Naoki
大阪生まれ。舞台美術、大道具、イベント施工、ディスプレイ業。三代目社長 就任7年目にして仕事が楽しくてしょうがない今、暇ができたら何をしたいか?もちろん仕事でしょ!!
http://www.greenart.co.jp



▲ 橋本氏と共同制作の「ダンビョーブ」支部設立式典にて

よい会社を目指すための羅針盤

北極星

Vol. 10
大阪府中小企業家同友会
大阪北ブロック
PRマガジン
北支部、三島支部、豊能支部
新大阪支部、中之島支部
www.osaka.doyu.jp

OSAKA 中小企業家付録 2013年7月1日発行

特集

存続・発展のために
チャレンジし続ける!

株式会社トラベル・フロンティア 代表取締役 **窪川 行一氏**
株式会社画屋 代表取締役 **小川 満洋氏**

現場での判断がカギ

株式会社グリーン・アート 代表取締役 **松本直樹氏**

休みの日はパソコンもOFF

株式会社マーブル 代表取締役 **中本 真由美氏**

作文講座のススメ 【受講者の声】

作文講座と言われても、何をしようのかわからないというあなたに、講座の前身を解説しよう。

講座では、まず先生の講義を受ける。次に、宿題で書いてきた作文を、受講生で読み直し、お互いの作品を論評。ここが最大のポイントだ。誤字脱字は当然、何が言いたいのかわからないとか、結論が面白くないとか容赦ないツッコミが入る。もちろん、ツッコミを入れるのもありだ。間違った知識で自爆という場合もあるから気を付けるべし。

スケジュール帳を開いて、日程調整を。頭の汗をかきながら作文書いて、ご参加ください。

中之島支部 浅井勝正

次回作文講座

開催日時: **7月19日(金) 18:30開始予定**
会場: **大阪市立 総合生涯学習センター第2会議室**
参加費: **1,500円** 詳しくはe.doyuをご覧ください。

経営者の休日

休みの日はパソコンもOFF

普段は仕事柄、じーっと座ったまま長時間もパソコンの前で作業に没頭することが多く、どうしても仕事場にこもりがち。ですから休日は思いきってパソコンの電源をオフにして、外出するようにしています。

最近は、仕事を通して親しくなった人たちが趣味のサークルをつくって楽しんでます。そのなかで一番活発に活動しているのが「古典らぶ」。何をしているのかというと、みんなで文



株式会社マーブル 代表取締役
中本 真由美
Nakamoto Mayumi
パンフレットやサイトなど「情報発信」のためのツールを企画・制作しています。お客様のニーズを満たす「機能するツールづくり」を心掛けています。
www.marble.jpn.com

広報委員より

この度、「北極星」の編集をして思い出したことがあります。仕事は「できた」というその達成感がないと、永く続けられないと教わりました。さらに、ひとりの力でできるものではなく、多くの人達の力の結集の賜物です」とも教わりました。この「北極星」も取材に協力していただいた方や広報委員一人ひとりの力が結集しています。

北ブロック広報委員会では、広報の本来の役割「施策や活動内容を広く知らせる」という原点に戻り「会報から広報へ」をモットーに取り組んでいます。これからもみなさまにご愛読していただくように紙面の充実をはかりたいと思います。

編集長 川上博史

【発行元】大阪府中小企業家同友会
大阪北ブロック広報委員会
【発行責任者】八塚 昌紀
【連絡先】大阪府中小企業家同友会 事務局
TEL 06-6944-1125
FAX 06-6941-8352

存続・発展のために チャレンジし続ける！

今回は、世界へ目を向ける旅行者代理業の(株)トラベルフロンティア窪川氏と100%自社制作の企業は関西には存在しない！漫画家(株)画屋小川氏、変化する時代の中で、生き抜くために新しい事業計画を立て続けるお二人の熱い対談です。



株式会社トラベル・フロンティア
代表取締役

小川 満洋
Ogawa Mitsuhiro

広告・販促に利用する漫画の制作会社。自社制作の漫画を書籍化、書店で販売するなど大阪で漫画産業を根付かせる活動も展開中！

http://www.kakuya.com



▲ 今回の異業種対談ではどんな発見に出会えるのか

**まずはお二人の
事業内容を教えてください。**

窪川 当社は旅行者代理業をしています。中心は業務渡航です。通訳やゴルフなども含む出張のすべての手配をサポートしています。アジアやアメリカなどの見本市や視察も増えています。

小川 広告に使う漫画の制作をしています。読者に夢をみてもらうことが仕事です。つまり、世の中にまだ存在しないもの、目に見えにくいものをビジュアル化して読者に伝えることです。

**今、どんな事に
チャレンジしていますか？**

窪川 今年4月から、京都にあったグループ関係の会

**サービスの劣化を防ぐために、
情報を整理してチームで共有しています。**

社のお得先をすべて譲り受けることになりました。業務量が1・3倍くらいに増えました。これを契機に私自身が現場に入り直し、今年の会社のスローガンを『共有』としました。

また、お得先へのサービスの劣化を防ぐために、お得先の情報や業務に関する情報を整理してフィードバックしています。そうすることで、お得先の情報をチームで共有しています。

小川 創業以来ずっとチャレンジを続けています。大阪で漫画を描いて生きることは困難です。生きていくことそのものがチャ

**なぜ、企業変革が
必要なんですか？**

レンジだと考えています。現在、漫画を読む世代の人々が社会の中心世代になり、オタクと称される人は全国で500万人いると言われる時代です。今後、出版とは別に広告などの様々な場面で漫画の需要が増えていくと確信しています。

窪川 業界の激しい環境変化に、強い危機意識を感じているからです。ローコストキャリアとインターネットの普及により、この数年旅行会社は変革を強いられています。お客

**リーダーングカンパニーとして、
チャレンジを実現するには「人」が必要です。**

様は店舗への申込みからインターネットでの申込みが大きく流れています。

その中で、当社は法人のお得意先が多く、出張は日程変更などの対応ができてきます。その対応などは個人ではとても面倒な作業になり、ここに当社の事業としてのビジネスモデルと生き残っている意味があります。

小川 漫画を企業の知的資産価値として認めてもらい、仕事を増やし、雇用を生み、地域経済に貢献するためです。大阪では漫画は産業になりませんでしたが、東京との違いは出版社の有無だけではなく、形のないモノの価値がなかなか認められない風土が大きく影響しているように思えます。

**同友会をどのように
活用していますか？**

窪川 同友会の経営指針確立・成文化セミナーでサブ

**最後にお二人の
夢を聞かせてください。**

小川 経営指針セミナーで積極的に学んでいます。計画書は、何回も繰り返し学んでいます。計画書は、豊中商工会議所にも提出しました。その結果、大阪府から経営革新計画の承認を取得するにいたりました。

窪川 私が結婚式を挙げ、新婚旅行にも行ったのがハワイでした。とても楽しかったので、初めてハワイを旅行する人へ当社にしかできない最高の思い出を作るサービスを考えたいです。そして将来、私自身1年のうち

小川 大阪を漫画の仕事をして半分以上はハワイに住みながら仕事をしたいですね。

大阪を漫画の仕事をして半分以上はハワイに住みながら仕事をしたいですね。

(文：川上 博史)



▲「経営計画書」に興味をもつ川上編集長。



株式会社トラベル・フロンティア
代表取締役

窪川 行一
Kubokawa Kouichi

海外への出張手配や社員旅行・団体旅行の企画・手配を主たる業務とする旅行会社。ネットでは解決しない「旅の要望」にお応えすることが使命。ハワイのことならぜひご相談を。
http://travel-frontier.com/



© kakuya Co., Ltd.



▲ 企業変革プログラムを活用されているお二人



© kakuya Co., Ltd.

大阪北ブロック
経営指針確立・成文化セミナー開催

Aコース・Bコース・Cコース

2013年 **7/6(土)・7(日)**

「受講者募集中」詳しくはe.doyuをご覧ください。

いっしょに作る

**取材・撮影・編集
サポーター募集中!**

誌面の企画・企業への取材・編集デザインなどを通じて、より経営者の考えなどに生でふれる事ができます。